

# 野田ロータリークラブ週報

第2923回例会 (11月12日)

第2916号 2018.11.19 発行

■創 立:昭和31年5月

■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30



会 長:茂 木 佐平治

会長エレクト:富 山 好 夫

副 会 長:栗 林 徹

幹 事:細 谷 智 之

副 幹 事:宇 山 嘉 一

■発行責任者:小 出 賀 子

2018-2019年度 ロータリーのテーマ

R I : BE THE INSPIRATION 「インスピレーションになろう」

地区:「伝統と未来」 ~誇りと連帯感~

野田:「楽しくてこそ、ロータリー」

■ 例会場 事務局 ■

野田商工会館内5F(樺のホール) 〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL04 (7125) 0061 FAX04 (7125) 0055

## 会長挨拶



茂 木 佐平治 会長

11月15日は、ボジョレーヌーボー解禁日であります。世界中で、11月の第3木曜日が解禁日。時差の関係で、日本が世界中で一番早く解禁日になります。そしてこの日は、新酒が出来たことを喜ぶお祭りで、フランスはもちろん、日本でも盛んにヌーボー祭りが行われます。

ボジョレーヌーボーとは、フランスのブルゴーニュ地方の南の地区、ボジョレー地区で作られる赤ワインです。ガメイという、ブドウ品種で、その年に収穫されたブドウから作られる、新酒です。

もともと、その年のブドウの品質が良いか悪いかを確認するために作られるもので、従って、早くワインにしてしまう必要があります。そのため、マセラシオン・カルボニックという醸造方法で作られます。マセラシオン・カルボニックというのは、簡単に言うと、ブドウを潰さずにタンクの中にどんどん入れて、自分の重みで潰れて出てきた果汁が発酵して、炭酸ガスが出てきます。それがタンク内に充満することによって、ブドウの中にある酵素が働いて、色や香りがついてきます。したがって、フレッシュな仕上がり、フルーティー、全体に軽い感じの赤ワインができます。赤ワインの渋みが苦手な人にはいいかもしれません。

美味しく飲むには、少し冷やして、12度ぐらいがいいでしょう。軽いおつまみと一緒に楽しむのがいいと思います。重い食事だと、この軽いワインは料理に負けてしまいます。

新酒祭りだから、わいわい楽しく、肩ひじ張らずに、気楽に楽しむ。とっても素敵なことだと思います。でも、しっかりしたワインが好き人は、あまり美味しいとは感じないかもしれません。私自身、あまり好みではありません。

でもワインは、人によって、それぞれ好みがあります。自分で美味しいと思うワインが、一番いいワインなんで



す。私は、ワインには2種類しかないと考えています。美味しいワインと美味しくないワインの2種類。自分の好みや、その時の食事や、雰囲気によって合っていれば、値段や人の評価に関係なく、美味しいワイン。それが、合っていないければ、どんなに高いワインでも、美味しくないワインだと思います。

皆さんも、自分で美味しいと思ったワインが最高のワインですから、それぞれの好みで大いにワインを楽しんでいただきたいと思います。

今日は夜間例会でもないのにお酒の話をしてしまいました。本日の例会もよろしくお祈りします。

## 第2923回例会

点 鐘 茂木佐平治 会長  
司 会 森下 芳夫 会員  
ソ ン グ 我等の生業

### ◆ゲスト

2014～2015米山奨学生 徐 進 様

### ◆ビジター



2770地区 2011～2012パストガバナー  
春日部西RC 三国 明 様

出席 今回分(11月12日分)  
会員50名中40名出席(80%)

(10月28日分)

地区大会 訂正なし

## ニコニコボックス

山下 和子 会員

10月に北欧に行ってきました。(リトアニア、ラトビア、サンクトペテルブルグ)

野崎 学会員

本日卓話、ゲストスピーカー徐進さんをどうぞ宜しくお願い致します。

野崎 学会員

徐進さん卓話中に米山奨学会特別寄付の申込ボードを回しますのでよろしかったらご協力宜しくお願い致します。

石山 隆一 会員

春日部西ロータリークラブ埼玉県の元ガバナーの三国明様にきていただきました。米山奨学生の徐進くんにも久し振りにきていただきました。

石山 隆一 会員

11月7日、5クラブ合同ゴルフコンペで優勝してしまいました。ドラコンとニアピンもいただきました。

茂木佐平治 会長

先日土曜日に、息子が結婚いたしました。お陰様で、天気もよくすばらしい披露宴となりました。

早退3名

## 幹事報告

細谷 智之 幹事



1.11月7日 5クラブ合同ゴルフ 石山会員優勝  
2.11月10日 情報研究会 17名参加  
3.11月9日 愛のメリークリスマス打ち合わせ  
深井委員長、細谷幹事参加

## 卓 話

野崎 学 会 員  
ゲストスピーカー 徐 進 様



### 言語教育から国際理解へ

氏 名： 徐進  
大 学： 麗澤大学大学院 博士課程  
奨学金受給時間： 野田RC(2014-2015年度)  
当時のカウンセラー： 石山隆一

皆様ご無沙汰しております。麗澤大学の徐進です。今日は野崎委員長の誘いに応じて、例会に参加しに来ました。今日はまた皆様とお会いできて、本当に懐かしくてうれしいです。時間がたつのは本当に早いものですね。米山奨学生受給期間以来、あっという間に、4年間が経ちました。あの時を振り返ってみると、月に一回野田ロータリークラブの例会に参加したり、カウンセラーの石山さんと一緒に米山奨学金記念会の活動や研修に参加したりして、貴重な経験がいっぱいできました。本当にいい思い出ばかりでした。カウンセラーの石山さんがいつも私の面倒をみてくれて、そして、人生の先輩として社会の経験や日本のマナーなどをたくさん教えてくださいました。例会日だけでなく、平日でも電話をしたりして、すごくいい関係を作りました。今でも年に3回ぐらい会っています。石山さんはまるでお父さんのように、この何年間ずっと私の背中を支えてくれています。ちょっとずうずうしいですが、今は石山さんを「お父さん」と呼んでいます。日本人のお父さんができ、またこんなに素晴らしい大家族の一員になれて、非常に誇りを感じています。日本に来て本当

によかったです。皆さんとのこのご縁を大切にして、これからもずっとこのご縁を続けていきたいと思っています。

さて、今日の卓話のテーマは「言語教育から国際理解へ」です。自分の専門を応用して、どうやって社会に貢献を与えるかについてお話したいと思います。

実は私は大学時代の専攻はコンピュータでした。まったく教育と関連のない専門でした。大学を卒業して普通の会社に就職しました。仕事の関係で、暇な時間に日本語学校に通って、半年ぐらい日本語を勉強していました。日本語を勉強すればするほど、日本語そのものの面白さを感じました。しかし、どうして日本語をこんなにたくさん勉強したのにまだ話せないのか、どうしてこの場面でのこの単語を使うのか、他の単語を使わないのか、いろんな疑問が生じてきました。また、それらの答えを探るために、探求心が強い自分が会社をやめて、中国の民間日本語言語学校で助教として2年間勤めました。教師の体験によって自分の日本語の基礎知識が強化されたのみならず、生徒達からのいろいろな質問を解決し、日本語の学習における難しいところがわかるようになりました。そしてさらに、日本語を研究したいという強い気持ちが萌え出しました。それが今日本に来て大学院に入学した最初の動機です。

私の専門は日本語教育学です。皆さんの知っている日本語の国語教育と違って、日本語教育は日本語を母国語としない人に対し、日本国内外で、日本語を指導することです。言語は文化の一部で、人と人とのコミュニケーションの最も基本的なものです。今の時代はちょうどグローバル時代で、言うまでもなく言語教育の重要性がなおさらです。日本でも、外国人がたくさんいます。言語や習慣などの違いによってトラブルが生じることも少なくありません。言葉の微妙なニュアンスや文脈やジェスチャーなどこまかいところまでも誤解の生じる可能性があるため、それらを言語教育現場での提起がかなり重要であると考えられます。外国語で外国人とコミュニケーションする時に自分が知っている常識や習慣では相手の意味を完全に捉えられることはとても無理です。たとえば、中国人はまっすぐで何でもはっきり言うのに対し、日本人は曖昧さをもって、いつも相手のことを配慮しながら話を続けていくタイプと言われていました。留学生と交流する経験がある方は多分ご存じだと思いますが、長年日本に住んでいて日本語が結構うまい留学生でも、話しているうちになんとなく不慣れ感があるでしょう。それは習慣の差文化の差というものです。人と人の交流は、もともと相手と情報交換することで、受けた情報に対して推測し、自分の常識や経験、知識などに照らして理解していくことです。言葉だけでは表現できないものがたくさんあるため、小さな手部動作でも違う習慣によって別の意味として捉えられ、誤解が生じる可能性があります。またそれを修正しないまま、小さい誤解から大きな誤解になり、大きな誤解からもっと大きな誤解になって



**BE THE INSPIRATION**  
「インスピレーションになろう」

**ROTARY CLUB OF NODA**

しまう可能性もあります。自分はそれをよく知っているからこそ、日本へ留学を決意し、日本語と日本文化を深く研究し続けることを決めました。異文化理解を促進するためには、言葉を教えるだけではなく、その国の文化や習慣なども一緒に教えるべきであり、それを実現することは現在言語教師である自分の目標です。国際理解を促すために、生徒たちに国際社会に生きる自覚を持たせ、自国の文化や伝統に対する理解を深めさせると同時に、世界のほかの地域の人々の生活や文化を理解し・尊重することが大事です。確かに今の言語教育現状は自分一人の力だけではなかなか変えることはできないのですが、とにかく、自分ができることをやります。今の教え子に自分の理念を教え、また、自分の教え子が今後彼らの生徒にそれを教える、それを続けると、いつかきっといい結果が出るだろうと信じています。道はまだ遠いですが、これからもこの目標へ向けて頑張りたいと思います。

今日の卓話は以上です。どうもありがとうございました。

**今週のトピックス**

兼題 冬晴・日記買う

次回 12月10日

- 11月12日 兼題 文化の日・菊  
俳句同好会句会(第60回)  
抱きし見にも嗅せてやりぬ菊花展(佐野)
- 女房投げ亭主受け取る大根干し(佐野)
- 晩秋の侘寂纏ひ俳友逝く(高梨)
- 菊の香や遠きわが子の宮参り(高梨)
- 堀際の咲くにまかせた菊花かな(茂木七)
- 造り手のこだわり示す菊花展(茂木七)
- 早咲きの菊を一輪たむけたり(山下)

**野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表**

月日	卓話・行事	月日	卓話・行事
11月19日(月)	会員卓話 三野輪芳幸 会員(記紹介)	12月17日(月)	クリスマス例会 ビジネスホテル野田 18時～
11月26日(月)	会員卓話 山下 和子 会員	12月18日(火)	愛のメリークリスマス
12月 3日(月)	会員卓話 深井 弘行 会員	12月24日(月)	} 休会 定款第6条第1節により
12月10日(月)	年次総会	12月31日(月)	

2018～2019年度  
国際ロータリー第2790地区 第14グループ

**ロータリー情報研修会**



「わかりやすいロータリー」  
～職業奉仕を再考する～

- 野田ロータリークラブ
- 流山ロータリークラブ
- 野田東ロータリークラブ
- 野田セントラルロータリークラブ
- 流山中央ロータリークラブ



ロイヤルガーデンパレス  
柏日本閣

